

# Health Protection Agency

## INTERPHONE

2010年5月18日

本日公表された INTERPHONE 研究は、携帯電話使用と脳腫瘍の関連の可能性に関する、これまでで最大の研究であり、HPA の専門家は心から受け入れてきたものである。

13 カ国の研究をプール解析した研究は、携帯電話の健康へのインパクトを理解するのに大きく寄与した。研究における“バイアスと誤差”が、導き出された結論を限定的なものにしたと結論され、携帯電話の使用と脳腫瘍との間の何らかの関連を明確にすることは不可能であったことを意味している。

放射線、化学物質と環境ハザードに関する HPA のデレクター John Cooper 博士は、以下のように述べている。“INTERPHONE 研究は、脳がんの増加を確証しなかったが、特に高レベル使用者については何らかの不確かさが残っている。携帯電話使用と脳がんの研究、および国際がん研究機関からの一層の研究の呼びかけの両方を、HPA は歓迎する。”

携帯電話の使用について、HPA の長く定着しているプレコーショナリーなアドバイスに変更はない。すなわち、小児は不必要な通話のための使用を控えることが勧められ、一般公衆は携帯電話の機種によるばく露レベルの違いの情報に気軽にアセスして、情報に基づいた携帯電話選択をすべきである。

INTERPHONE 研究の専門性とその重要性に照らして、HPA は、HPA と独立な機関 Advisory Group on Non-Ionizing Radiation (AGNIR) の一員である国際的な著名な放射線の科学者グループに、INTERPHONE 研究をレビューするように依頼した。グループによるレビューの終了を待って、HPA は更なる声明を出す予定である。

### 注記：

国家間にまたがる INTERPHONE 研究は、13 カ国での研究を取りまとめて、携帯電話の使用が（脳腫瘍と唾液腺腫瘍を含む）頭部や頸部の腫瘍のリスク増加と関係しているかを調べるために、2000 年に立ち上げられた。本日公表された論文は脳腫瘍に焦点を当てている。他の腫瘍についての結果は、引き続き公表される予定である。

INTERPHONE についての更なる情報は：[www.iarc.fr](http://www.iarc.fr)

HPA は、公衆衛生に関する電離および非電離放射線のインパクトのあらゆる側面について、政府や権限が委譲された行政機関に助言する。

携帯電話に関する更なる情報は

[www.hpa.org.uk/HPA/Topics/Radiation/UnderstandingRadiation/1158934607786/](http://www.hpa.org.uk/HPA/Topics/Radiation/UnderstandingRadiation/1158934607786/).

AGNIR についての更なる情報と、AGNIR の委員については

[www.hpa.org.uk/HPA/Topics/Radiation/RadiationAdvisoryGroups/1207821636407/](http://www.hpa.org.uk/HPA/Topics/Radiation/RadiationAdvisoryGroups/1207821636407/).

より詳細は、HPA の放射線、化学物質と環境ハザードのプレスオフィスまで  
01235822737/876/745.5.

最終校正：2010年5月18日  
Health Protection Agency 2010